

令和2年の回顧と展望 菅政権を翻弄するコロナ

政治アナリスト
元杏林大学教授

豊島典雄

GOToでドタバタ劇

令和2年の10大ニュースは、緊急事態宣言、五輪1年延期とかコロナ関係が上位を占めた。コロナに明け暮れた1年だった。

人生、上り坂下り坂にまさかという坂があるが、トランプの大統領選の敗北、安倍前総理の退陣もコロナがもたらしたと言える。2年の元日には想像できなかった事態だ。

携帯電話料金引き下げ、不妊治療への助成拡大などは評判が良いが、観光支援事業「GO To トラベル」を推進した菅総理のコロナ対応に世論の目は厳しい。感染が急拡大し、菅内閣は支持率も急低下し、危機を迎えた。

政局の胎動を感じる。
菅総理はコロナの感染防止と経済活性化の両立を目論んだが、感染者が激増した。菅総理は12月14日、「GO To トラベル」について、12月

28日から1月11日まで、全国一斉に一時停止すると発表した。従来の札幌、大阪両市に加え東京都と名古屋を目的地とした旅行については、全国にさきがけて12月27日まで事業の対象から除くとした。医療従事者の処遇改善も打ち出した。方針の大転換だが、遅すぎた。

「GO To トラベル」による人の移動の拡大がコロナの感染拡大につながるとして専門家は、「GO To トラベルが感染拡大のきっかけになったことは間違いない」「GO To を国が推進することで国民は完全に緩んだ」（日本医師会会長）とブレイキの必要を訴えた。

しかし、菅総理はGO To 推進の大方針を変えずアクセルを踏み続けた。
菅総理は「GO To トラベルが感染拡大の主要な原因とのエビデンスはない」との方針を堅持し、方針

転換直前にも「そこは考えていない」とインタビューに答えていた。それが、急転直下のブレイキである。それだけに、朝令暮改、ドタバタ劇の印象だ。

ガースーです

さらに、ニコニコ動画のインタビューで「ガースーです」と挨拶。また、GO To を全国一斉に一時停止すると発表した夜に、銀座で大人数の忘年会に参加した。

いずれもKY（空気を読めない）であり、崩壊の危機にある医療現場への配慮、緊張感に欠けているとして批判された。批判の高まりに菅総理は「大いに反省している」と頭を下げた。

国民は我慢を強いられている。「国民は『あいっただけ勝手なことをしている』と忘年会に怒っている」（自民党幹部A）という。
「池田勇人は料亭とゴルフが大好

きだったが、総理になると、子分の大平正芳（後に総理）の忠告を受け入れて止め、自宅での晩酌に切り替えた」（自民党幹部B）。「名優の舞台を脇で見ている人が『俺もできる』と錯覚しているようなものだ。官房長官と総理は求められるものが違う。その切り替えができていない」（自民党幹部C）。

ガダルカナル型

日本のコロナ対応は国民の良識に依存し、ツレーイト、ツースモールだ。思い切った対策を取らなかつた。韓国軍の元将軍は、「日本のコロナ対応は兵力の逐次投入のガダルカナル型だ」と言う。

日米戦争の勝敗はガ島で決定したと言われる。
「陸軍中央は、ガ島に上陸した敵なんか、わが一個連隊たらずで片付けてしまうことができると思ひこん



ガダルカナル

でいた……3次にわたる兵力増援
ことごとく失敗して、ようやく陸軍
中央は愕然となった」

「歴史にはいつも『もしも』とい
うことがある。もしも日本陸軍が最
初から敵よりも優勢な大兵力を投入
していたら、ガ島の戦いは勝ってい
た。特に第2回目の攻撃のとき、第
3回目ほどの兵力を送りこんでいた
ら、米軍は敗退していた。戦後になっ
て米軍の首脳者は告白している」
「なぜ、日本陸軍はガ島に対し、
このようなケチな兵力の増援しかり
なかつたのか」

「第1に、米軍というものを全然
知らず、なめきっていたからである」
(新名丈夫著・井上成美)。

ガ島に送られた日本軍将兵
3万1400人。

上陸人員の7割以上、約
2万4500人が死んだ。コロナを

なめてはいけない。

保守派の目も

自民党を支える保守層の総理を見
る目も厳しくなった。菅内閣は安倍
政治の継承ではない、と見始めた。

12月18日の閣議で敵基地攻撃能力
保有を先送りした。また、夫婦別姓
推進の姿勢も見えて自民党の支持基
盤も「公明党に配慮し過ぎてい
る」と反発している。

政治は「信なくんば立たず」であ
るが、菅政権はその信を失いつつあ
る。

自民党内には「五輪が花道かな」
と予測する向きもある。

①菅政権は岩盤支持層がない。安倍
政権には3割の岩盤支持層があっ
た。

②強力な派閥がない。腹心もない。
諫言する盟友も見えない。

③世論頼りだが、内閣支持率が急低
下している。

万目をもって

人心を深く洞察するべきである。

「人主は二目をもって一国を視、一
国は万目をもって人主を視る」(韓
非子)。民心はこうだ。

共同通信の12月5〜6日の調査

では、内閣支持率は50・3% (12・
7ポイント減少)、不支持32・8%
(13・6ポイント増加)。経済活動と
感染防止のどちらを優先すべきかで
は感染防止が76・2%。

政府の新型コロナ対応について
は、評価しない55・5%、評価す
るが37・1% (11月より11・8ポ
イント減少)。GOTO トラベル
については、「全国一律に停止すべ
き」48・1%、「一連の対応は妥当」
11・6%。

TBSの12月5〜6日の調査で
は、内閣支持率55・3% (11・5
ポイント減少)、不支持41・1%
(12・9ポイント増加)。政府のコ
ナ対応について、評価する39%、評
価しない49%。感染防止と経済活動
のどちらを優先すべきかでは、感染
防止71%。政府は現時点で緊急事態
宣言を出す状況にないとしている
が、支持する37%、不支持53%。

読売新聞の12月4〜6日の調査で
は、内閣支持率61% (11月は69%)、
不支持27% (22%)。GOTOにつ
いては、継続21%、いったん中止し
たほうがよい57%。

毎日新聞の12月13日の調査は衝撃

的であり、菅総理に方針転換を決断
させた。内閣支持率を不支持率が上
回ったのだ。

内閣支持率40% (11月57%)、不
支持は49% (36%)。

政府の新型コロナウィルス対策で
は、評価する14%、評価しない62%。

日本の医療・検査体制については、
不安を感じる69%、不安は感じない
17%。緊急事態宣言については、発
令すべきだ57%、発令する必要はな
い28%。GOTOについては、止
めるしかない67%。

朝日新聞の12月19〜20日の調査で
はGOTOトラベルの全国で一時的
止は「遅すぎた」が79%。総理はコ
ロナ対策で「指導力を発揮していな
い」が70%。総理の大人教会食は「問
題だ」が66%。

ワクチン接種も、欧米は昨年末に
開始した。菅総理が感染防止を強力
に進めながら、ワクチン接種を迅速
に進め五輪を成功させられるかどう
か。

コロナ対応に失敗すれば、衆院解
散の機会を得られず追い込まれ解散
となる。その前に、弱体政権と見て
政局の号砲が鳴る。